

(2) 中村中学校

学 校 長 山崎 利 彦
校内研究代表者 谷岡 名津美

1. 研究主題 「 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習過程の工夫 」
～見方・考え方を働かせた授業づくりを通して～

2. 研究主題設定の理由

本年度は県の指定「『高知の授業の未来を創る』推進プロジェクトにおける実践研究協働校事業」の2年目、「社会科授業づくり講座」及び「中学校組織力向上のための実践研究事業」の7年目の研究指定を受けている。また国立教育政策研究所の協力校でもある。

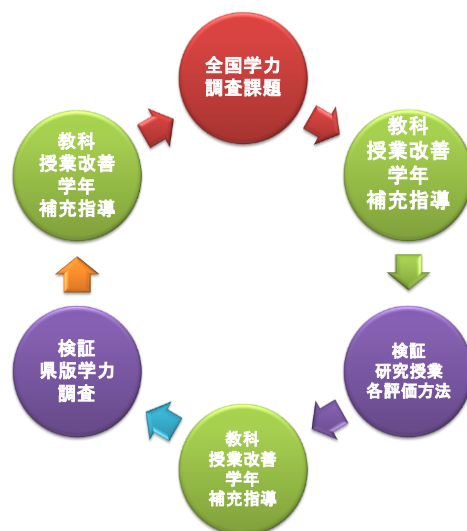
本校では全国学力・学習状況調査、高知県学力定着状況調査や標準学力調査を検証軸として、授業改善を図りながら、学力向上に取り組んできた。これまで各教科で「生徒の学びにつながる『まとめ』や『めあて』の設定が適切かどうか」や「教科の見方・考え方が働かされている授業づくりとなっているか」など、共通した視点で授業づくりを行ってきた。

しかし、学んだ知識を活用して自分自身で解決する力や、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等に課題が見られる。この要因の一つとして、小学校から中学校への学びの接続がうまく機能しておらず、学習の積み上げが効果的にできていないことも考えられる。

そこで、課題改善のために、小学校での学びを中学校に繋げるための小中連携に力を入れ、学びの系統性を重視する。また、単元や題材のまとまりを見通しながら、各教科における見方・考え方を働かせる授業づくりを全教科で継続して取り組む。そして、生徒が主体的に考えることができる必然性のある「問題」「めあて」や既習事項を生かす新たな課題発見へと繋がる「まとめ」「振り返り」の学習過程の研究を重ねる。また、生徒同士や生徒と教師、その他教材との対話を通して、自己の学びを深める指導に力を入れる。更に全教科で取り組んでいる授業づくりが生徒の資質・能力に繋がっているかを検証するための指導と評価の一体化の研究を行う。

以上のことを共通した学びの視点で全教員が全教科で繋げていけば、学習指導要領で明確化された育成すべき資質・能力が教科等横断的に身に付き、「生きる力」の育成に繋がるという仮説のもとに、研究主題を設定した。

また、本校では7月末の全国学力・学習状況調査の業者採点の結果を受けて、全国との比較をもとに検証を行い、研究主題を見直している。今年度はより具体的な生徒像に迫れるよう、文言を修正した。



2学期からの研究主題 「 見方・考え方を働かせて課題解決できる生徒の育成 」
～主体的・対話的で深い学びを通して～

3. 研究の進め方と方法

研究主題、学校経営計画の目標を達成させるため、学力向上部会、なかまづくり部会の2つの研究部会と、各教科会及び教科連携を図る教科主任会で研究を進めてきた。学力向上に向けた取組のうち、以下の3点について紹介する。

- (1) 学力調査等の分析を活かす取組 (2) 授業改善の工夫 (3) 小中連携の推進

4. 授業改善に向けた取組

(1) 学力調査等の分析を活かす取組

- ① 4月、教科部会で全国学力・学習状況調査や標準学力調査の自校採点と分析
- ② 全教職員で分析結果と課題を共有し、全体として付けなければならない力の確認 ※1
- ③ 各教科で具体的な取組を考えて実践（スケジュールの作成及び実施、修正）※2
- ④ 研究授業、評価問題、単元テスト等で検証

上記調査の業者採点后や高知県学力定着状況調査後も①～④のサイクルで分析を行った。

R4 全国学力調査の自校採点を進めよう		R4 全国学力調査の業者採点を進めよう		R4 標準学力調査の自校採点を進めよう	
課題	検証方法	課題	検証方法	課題	検証方法
① 調査結果を共有し、課題を共有する。 ② 調査結果を共有し、課題を共有する。 ③ 調査結果を共有し、課題を共有する。 ④ 調査結果を共有し、課題を共有する。	① 調査結果を共有し、課題を共有する。 ② 調査結果を共有し、課題を共有する。 ③ 調査結果を共有し、課題を共有する。 ④ 調査結果を共有し、課題を共有する。	① 調査結果を共有し、課題を共有する。 ② 調査結果を共有し、課題を共有する。 ③ 調査結果を共有し、課題を共有する。 ④ 調査結果を共有し、課題を共有する。	① 調査結果を共有し、課題を共有する。 ② 調査結果を共有し、課題を共有する。 ③ 調査結果を共有し、課題を共有する。 ④ 調査結果を共有し、課題を共有する。	① 調査結果を共有し、課題を共有する。 ② 調査結果を共有し、課題を共有する。 ③ 調査結果を共有し、課題を共有する。 ④ 調査結果を共有し、課題を共有する。	① 調査結果を共有し、課題を共有する。 ② 調査結果を共有し、課題を共有する。 ③ 調査結果を共有し、課題を共有する。 ④ 調査結果を共有し、課題を共有する。

令和5年 全国学力・学習状況調査までのスケジュール【英語科】											
1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
① 調査結果を共有し、課題を共有する。 ② 調査結果を共有し、課題を共有する。 ③ 調査結果を共有し、課題を共有する。 ④ 調査結果を共有し、課題を共有する。	① 調査結果を共有し、課題を共有する。 ② 調査結果を共有し、課題を共有する。 ③ 調査結果を共有し、課題を共有する。 ④ 調査結果を共有し、課題を共有する。	① 調査結果を共有し、課題を共有する。 ② 調査結果を共有し、課題を共有する。 ③ 調査結果を共有し、課題を共有する。 ④ 調査結果を共有し、課題を共有する。	① 調査結果を共有し、課題を共有する。 ② 調査結果を共有し、課題を共有する。 ③ 調査結果を共有し、課題を共有する。 ④ 調査結果を共有し、課題を共有する。	① 調査結果を共有し、課題を共有する。 ② 調査結果を共有し、課題を共有する。 ③ 調査結果を共有し、課題を共有する。 ④ 調査結果を共有し、課題を共有する。	① 調査結果を共有し、課題を共有する。 ② 調査結果を共有し、課題を共有する。 ③ 調査結果を共有し、課題を共有する。 ④ 調査結果を共有し、課題を共有する。	① 調査結果を共有し、課題を共有する。 ② 調査結果を共有し、課題を共有する。 ③ 調査結果を共有し、課題を共有する。 ④ 調査結果を共有し、課題を共有する。	① 調査結果を共有し、課題を共有する。 ② 調査結果を共有し、課題を共有する。 ③ 調査結果を共有し、課題を共有する。 ④ 調査結果を共有し、課題を共有する。	① 調査結果を共有し、課題を共有する。 ② 調査結果を共有し、課題を共有する。 ③ 調査結果を共有し、課題を共有する。 ④ 調査結果を共有し、課題を共有する。	① 調査結果を共有し、課題を共有する。 ② 調査結果を共有し、課題を共有する。 ③ 調査結果を共有し、課題を共有する。 ④ 調査結果を共有し、課題を共有する。	① 調査結果を共有し、課題を共有する。 ② 調査結果を共有し、課題を共有する。 ③ 調査結果を共有し、課題を共有する。 ④ 調査結果を共有し、課題を共有する。	① 調査結果を共有し、課題を共有する。 ② 調査結果を共有し、課題を共有する。 ③ 調査結果を共有し、課題を共有する。 ④ 調査結果を共有し、課題を共有する。

※1 各学力調査から見た共通の課題に対する各教科の取組と検証

※2 全国学力学習状況調査までのスケジュール

(2) 授業改善の工夫

①教科主任会の充実（月2回実施）

- ・研究授業での課題や授業改善のポイントなどを共有（全体のベクトルを合わせる）
- ・各教科会における進捗状況の確認
- ・主幹だよりの発行…取組の重点を意識化させる
- ・教材研究会への参加

②教科会の充実（週1回以上実施）

- ・学力向上部会（授業づくり、帯タイム、家庭学習）が年度当初に取組について提案し、教科会と連動して実施していく。
- ・指導案や単元計画を作成する中で、まとめや問題、めあて、見方・考え方がどの場面で働いているか、評価などについて協議を重ねたうえで日頃から授業を見合い、検証する。授業が見合えない場合は、板書や生徒のノートをもとに協議する。※3

③研究授業の実施（校内3回：数、英、美、国、音、授業づくり講座：社、協働校事業：体、理）

- ・参観の視点がずれないように工夫…教科長による授業前の説明、TSシートの活用、参観生徒の指示 ※4
- ・授業アンケートの実施…課題の洗い出し
- ・研究だよりの発行…授業後のまとめ（課題の共有）

良かった点や継続すべき点	改善点
① 調査結果を共有し、課題を共有する。 ② 調査結果を共有し、課題を共有する。 ③ 調査結果を共有し、課題を共有する。 ④ 調査結果を共有し、課題を共有する。	① 調査結果を共有し、課題を共有する。 ② 調査結果を共有し、課題を共有する。 ③ 調査結果を共有し、課題を共有する。 ④ 調査結果を共有し、課題を共有する。

TSシート

項目	教師の発問	生徒の発言
1	① 調査結果を共有し、課題を共有する。	① 調査結果を共有し、課題を共有する。
2	② 調査結果を共有し、課題を共有する。	② 調査結果を共有し、課題を共有する。
3	③ 調査結果を共有し、課題を共有する。	③ 調査結果を共有し、課題を共有する。
4	④ 調査結果を共有し、課題を共有する。	④ 調査結果を共有し、課題を共有する。
5	⑤ 調査結果を共有し、課題を共有する。	⑤ 調査結果を共有し、課題を共有する。
6	⑥ 調査結果を共有し、課題を共有する。	⑥ 調査結果を共有し、課題を共有する。
7	⑦ 調査結果を共有し、課題を共有する。	⑦ 調査結果を共有し、課題を共有する。
8	⑧ 調査結果を共有し、課題を共有する。	⑧ 調査結果を共有し、課題を共有する。
9	⑨ 調査結果を共有し、課題を共有する。	⑨ 調査結果を共有し、課題を共有する。
10	⑩ 調査結果を共有し、課題を共有する。	⑩ 調査結果を共有し、課題を共有する。

生徒の発言や様子をもとにした協議になるよう、事後協議のグループごとに、みる班を指定。

※3 教科会での協議シート

※4 研究授業の際の工夫

(3) 小中連携の推進

①実践研究協働校事業の取組（前期：体育科、後期：理科）

- ・中村小学校の先生方や指導主事との指導案検討の実施
- ・お互いの教材研究会や授業研究会への参加…全校研あるいはチームや教科主任会での参加
- ・9(7)年間の系統性を踏まえた単元構想の作成…同じ内容項目にすることで可能

②中村小中合同校内研修の実施（年3回実施：5月、8月、1月）

- ・研究チーム（国語、数学、社会、英語、理科、体育）をつくり、ノート指導や板書写真、授業を見合う計画などについて協議する。
- ・成果物の作成(準備)

③中村中校区合同研修会の実施（8月実施）

- ・中村小、中村南小、東山小、下田小、利岡小、八束小、中村中の教員が集まって、生徒のノートや板書写真を持ち寄り、情報交換を行なった。
- ・共通の学習規律アンケートを作成し、年2回実施。変容を見取り、各校の校内研で説明することで、課題を共有。

5. 今年度の成果と課題

成果

○学力調査等の分析を活かす取組

- ・これまでに確立してきた学力向上に向けての取組を、今年度も継続できた。
- ・各学力調査の分析後すぐにスケジュール表の作成に着手することで、課題に対して早期に手立てが打てている。また、短いスパンで評価することで、作成したスケジュール表を修正し、授業改善に繋げている。

○授業改善の工夫

- ・教科主任会で他教科の取組を報告し合ったことを教科会で確認したり、協働校事業や授業づくり講座に全教職員が参加したりすることで、他教科の見方・考え方などについて共有することができた。
- ・研究授業だけでなく、普段から授業を参観し合ったり、板書や生徒のノートを見合ったりして協議することで、生徒の実態に沿った授業づくりについて研究を深めることができた。
- ・社会科の研究授業前には、自発的に模擬授業が実施され、他教科の先生方が協力する姿があった。
- ・専門的知見に優れた先生方(西村先生、井上先生、水谷先生)にご指導、ご助言をいただくことができ、各先生方の指導観の向上に繋がった。
- ・ICTを活用した授業実践が増加し、各教科の実践を共有することで質の向上にも繋がった。

○小中連携の推進

- ・2年間の協働校事業を通して、中村小学校と指導案検討や授業交流をする素地が築かれた。
- ・継続的な齊藤一弥先生(高知県教育課程推進専門官)との関わりから、本校の研究における経年変化についてもご示唆頂けた。
- ・個別最適な学びと協働的な学びの研究が進んだ。
- ・中村中校区の小学校の授業実践や児童の様子を知ることができた。

課題

- ・各種学力調査の結果において、目標値に達していないものがあった。
- ・授業アンケートの結果において、年度当初より「教師のねらいと子どもたちの学びにズレがなかったか」という項目の数値が最も低かったが、その改善に向けての手立てが不十分だった。
- ・指導と評価の一体化について、さらに研究を進める。
- ・研究部会（学力向上部会、仲間づくり部会）のさらなる活性化。

来年度は、これまでの組織的な授業づくりや、学習指導要領の深い理解と生徒の実態を踏まえた単元構想、そして小中連携についての取り組みを継続し、今年度の学びを深化させていきたいと同時に、取組をより焦点化させて、改善すべきことはしていきたいと考える。